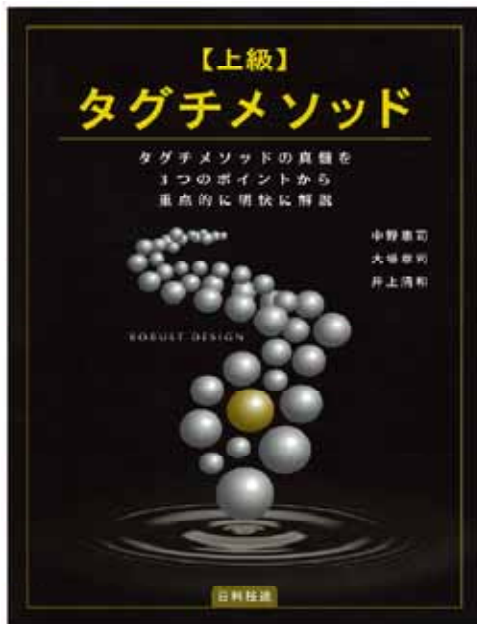


タグチメソッドの真髓を3つのポイントから重点的に明快に解説！

《【上級】タグチメソッド》



2009年12月21日好評発売中！

出版：日科技連出版社

価格：¥4,410(税込)

■2008年刊行『入門 パラメータ設計』の続編

パラメータ設計を含めたタグチメソッドに対する考え方を理解するには、基本機能に対する考え方や、2段階設計法の完全適用が考案された背景や理由を学ぶことが不可欠です。本書では、こうした部分に深く切り込むことで、「真のタグチメソッドの活用方法」を明らかにします。また、タグチメソッドを活用した技術開発や商品開発のあるべき姿のほか、タグチメソッドが企業(特に製造業)の利益創出に必須のものであることを解説します。

■SN比の式を自分で作ることができます

数理的な難しい説明を避け、できるだけ実務で使うことを念頭においた説明をすることで、理解度をあげる工夫をしています。

■基本機能の解説に力を入れています

基本機能について、世の中に明快に解説をしている本がありません。本書では、基本機能を考えなければならない理由、基本機能の定義も明快に説明しています。また、色々と読者が考えられるように、例も多く掲載しています。

■2段階設計法の完全適用

2段階設計法の完全適用については、いまのパラメータ設計はこの方法しかないという点を理解でき、具体的なやり方を解説しています。また、それが使えない仕事の時には、機能性評価が有効であるという点にもふれています。

著者紹介

第1章 損失関数

- 1-1 日本の企業における品質の定義
- 1-2 タグチメソッドにおける品質の定義
- 1-3 損失関数 望目特性
- 1-4 損失関数 望大特性
- 1-5 損失関数 望小特性
- 1-6 損失関数による評価
- 1-7 損失関数まとめ
- 1-8 安全設計
- 1-9 許容差の決め方

第2章 許容差設計

- 2-1 許容差設計とは
- 2-2 許容差設計の手順の概要と必要な知識
- 2-3 許容差設計の水準設定
- 2-4 許容差設計の手順
- 2-5【演習問題】許容差設計

第3章 静特性のSN比と感度の式を作る

- 3-1 静特性のSN比と感度の式の意味の復習
- 3-2 標示因子とは
- 3-3 標示因子がある場合の望目特性のSN比と感度
- 3-4【演習問題】標示因子がある場合の望目特性

第4章 ゼロ点比例式のSN比と感度の式を作る

- 4-1 ゼロ点比例式のSN比と感度の式の意味の復習
- 4-2 標示因子の影響度の求め方
- 4-3 標示因子がある場合のゼロ点比例式のSN比と感度
- 4-4【演習問題】標示因子がある場合のゼロ点比例式のSN比

第5章 基本機能

- 5-1 基本機能とは
- 5-2 基本機能を導き出す手順
- 5-3 目的機能と基本機能
- 5-4 基本機能を用いる利点
- 5-5 お客の使用条件：信号因子と誤差因子
- 5-6 色々な技術における基本機能
- 5-7 動的機能窓法
- 5-8【演習問題】基本機能

第6章 知っているとい他の知識

- 6-1 逐次近似法
- 6-2【演習問題】逐次近似法
- 6-3 分割型SN比
- 6-4【演習問題】分割型SN比

第7章 タグチメソッドを用いた開発の進め方

- 7-1 タグチメソッドを用いる真のねらい
- 7-2 2段階設計法の完全適用
- 7-3 機能性評価
- 7-4 技術を完成させる重要なマネジメント
- 7-5 技術開発の進め方
- 7-6 商品企画段階の進め方
- 7-7 商品開発段階の進め方

付録

直交表

著者紹介

中野恵司

1980年同志社大学工学部卒。同年富士通テン(株)に入社。1988年まで一般市販用カーオーディオ製品の電気設計を行いヒット商品を生み出す。1995年まで品質保証部に所属し、全社の品質保証体制の改善、教育を行い、社長表彰を受ける。1995年に(有)アイテックインターナショナルに入社。現在、副社長兼シニアコンサルタント。量産品質改善、新商品開発、開発プロセス革新等、企業体質の改善や改革のコンサルタントとして活躍中。

大場章司

1982年名古屋工業大学経営工学科卒。同年ブラザー工業(株)に入社。全社的な品質・生産性向上活動に従事し、パラメータ設計の導入推進を行う。その後、インクジェットプリンターの研究開発に参画し、商品化に貢献。本社品質統括部門、P&HカンパニーCS部門、製造部門のマネージャーを歴任後、中国広東省珠海工場の製造責任者として赴任。2005年に退社。現在、(有)アイテックインターナショナルに所属し、ものづくりの様々な課題・問題解決のコンサルティングを行っている。

井上清和

1970年名古屋工業大学電気工学科卒。1973年日本電装(株)(現株デンソー)に入社。IC、LSI、センサ等の半導体素子の研究、開発、製造に従事。1989年中部品品質管理協会指導相談室次長兼大同工業大学講師。1992年(有)アイテックインターナショナル代表取締役。国内および海外にてタグチメソッド、技術問題解決および要素技術開発、新製品開発システム構築などのコンサルタントとして活躍中。

お問い合わせ 有限会社アイテックインターナショナル
Institute of Technology, Engineering and Quality

TEL:052-917-0711 FAX:052-917-0712
Mail:info@iteq.co.jp